

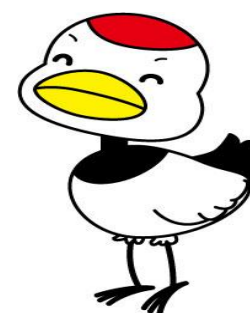
学校経営理念






「みんなが楽しい鶴指小」

学校教育目標

自主・自律・共生



### ◆目指す子どもの姿

 <div data-bbox="268 655 569 736">自主</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で考え、判断し。行動できる子ども</li> <li>○自分の行動に責任を持てる子ども</li> </ul>	 <div data-bbox="913 655 1213 736">自律</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で決めたことを、自分で守れる子ども</li> <li>○自分の心や行動を自分でコントロールできる子ども</li> </ul>	 <div data-bbox="1539 655 1839 736">共生</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との違いを受け入れることのできる子ども</li> <li>○他者と協働することができる子ども</li> </ul>
---	---	---

### ◆目指す学校の姿

○すべての子どもに居場所がある学校

学校は、子どもの「自己肯定感」を育てる場所  
「自分も捨てたものでない」「自分にも何かできることがある」という気持ちを持たせる場所

○地域とともに歩む開かれた学校

### ◆目指す教職員の姿

- すべての子どもと繋がることのできる教職員
- 子どもを主役にできる教職員
- 他者と協働することのできる教職員



### 教職員の基本姿勢

- ★子どもを一人の人間として尊重する。教職員が教える人で上、子どもが教わる人で下ではない。大人にしないことは、子どもにも絶対にしない。
- ★でも、子どもはできないもの、失敗するもの、大人の言うことをきかないものということを心に留める。「ダメ」と思わない。大人だってできなかったり、失敗したりする。
- ★6年間を通して育てる。その学年だけで完成させようとしてはならない。そうすると無理が出る。
- ★全教職員で育てる。もし上手くいなくてもそのクラス、その担任だけの責任ではない。全ての教職員が一人の子どもの成長に責任を持つ。
- ★まずは教師が子どもと繋がる。クラスを整えること、子ども同士の繋がりはその後。  
子どもの心の安全・安心 → 外発的動機付け → 内発的動機付け
- ★学校の当たり前を見直す。学校運営理念・学校教育目標を最上位目標として「目的」は何かを常に振り返り軌道修正、スクラップ&ビルドする。→行事、ルール、宿題、職員の事務仕事 等
- ★プロとしての気概を持つ。「学びの専門家」として、子どもを主役にするために同僚と学び続ける。

